

# 損失係数測定システム

## 半値幅法による損失係数測定

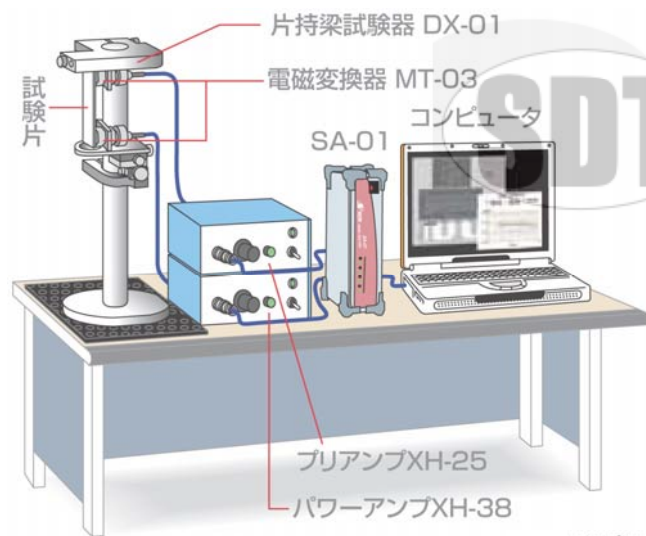
制振鋼板、制振合金、プラスチック、ゴム、アスファルトなどの制振材料は、自動車、家電製品、OA機器など多くの分野で使用され、騒音・振動の低減に効果をあげています。

本システムは、多チャンネル分析処理器SA-01を用いて、中央加振法または片持梁法により周波数応答関数を測定し、その共振特性から半値幅法により制振材料の損失係数 $\eta$ 、ヤング率 $E$ （またはせん断弾性係数 $G$ ）を求めます。

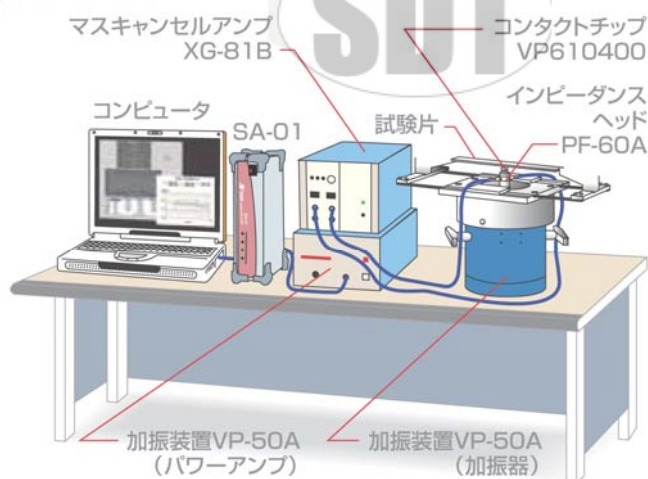
また、恒温槽温度制御を含めた自動測定が可能です。

### ■機能(測定項目)

- 試験片の損失係数 $\eta$
- 試験片の総合ヤング率 $E$
- 試験片に付加された制振材料の損失係数、ヤング率（推測値）
- 各種グラフ
- 結果の保存



接続例 片持梁法



接続例 中央加振法